

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	○職員を育てる取組み・・・人財育成に取り組んでいますが、職員個々が日々の業務に追われがちなのが現状です。	介護(認知症ケア専門)プロとしての誇りと自覚を持って日々のケアにあたる。管理者として、職員個々の力量を把握し、向上心を引き出すように動機付けの仕組みを考え、各職員に目標を持ってケアにあたれるように取り組む	日々のケアが振り返れるように目標設定をし、フィードバックを通じて、理解、認識してもらい人財育成に繋げていく。社内外の研修で学んだ事を実践でアウトプットできるような職場環境作りを目指す。	12ヶ月
2	15	○本人と共に過ごし支え合う関係・・・本人様の出来る事を最大限に生かして頂くように支援をしていくように取り組んでいますが、まだまだ職員が先に介助してしまっている傾向がある。	本人様の出来る事に視点を置いて、待つ姿勢の大切さに取り組む。又、本人様の生活スタイルの把握に努め、その人らしく過ごして頂くことを大切にする。	本人様をストロング視点で捉え、出来ることを増やしていき、本人様が人生を喜んで過ごして頂けるように支援をしていく。	12ヶ月
3	27	○個別の記録と実践への反映・・・ケアプランを意識したケア・介護記録が徹底されていない	介護記録を見て本人様への支援の方向性や取組みがわかるような生きた介護記録になるように取り組む。	勉強会や研修を行い、ケアプランの重要性、ケアプランに沿ったケア、記録記入を通じて職員のケアの意識レベル向上に繋げる。	12ヶ月
4	5				ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。